

たかといちどいだよ



令和3年11月 第73号
たかといちどい保育園



秋の暮れ 道にしゃがんで 子がひとり
— 高浜 虚子 —

ついこの間まで、暑い暑いと言っていたはずなのですが、いつの間にか寒い寒いと呟いている自分に驚いています。緊急事態宣言は解除されましたが、何の心配もないもとの生活に戻るのはいま少し先のような気がします。こうした中でも、毎日の生活は淡々と紡ぎ続けられているのではないのでしょうか。冒頭の句に詠み込まれた風景は毎日の降園時の一コマに近いものを感じます。降園時、子どもが道端にしゃがみ込み、何かをじっと見つめはじめて動かなくなったとき、早く帰らなければと時間に急かされる思いと、その子の横顔を見てゆとりめいたものが湧き上がる、そんな狭間でふと感じる幸福感。コロナに費やした相当な時間を少しは自分の幸せ見つけに振り分けられそうな気がします。

園でも、こうした思いで、できなかったことを少しずつでも再開していきたいと考えています。

5月に予定していた親子遠足については、「秋以降に延期」とお知らせしていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、なかなか次の一歩を踏み出すことができず、晩秋を迎えてしまいました。「秋以降」のことばで誰しもが「秋」を期待します。かくいう私自身がそう思っていたのですから…。しかし、宣言解除が10月22日。行事については少なくとも1か月前までにお知らせしなければならぬと考えています。そのため、秋の実施は難しいと判断し、3月に予定している3.4.5歳児のお別れ遠足を親子で行く「幼児グループ親子遠足」にしたいと思います。

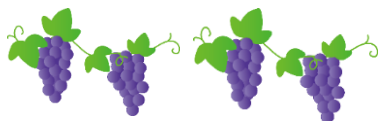
「親子ふれあいデー」は、幼児クラスのみならず、学年ごとの総入れ替えで実施し、子どもたちの最高の笑顔で終わることができました。実施できなかった乳児クラスについては、代替として、12月4日（にじ組）、11日（あさひ組、ひかり組）の「わくわく発表会・懇談会」の折に、親子でふれあうプログラムを組み入れ、楽しんでいただけるようにしたいと計画しています。（キッズについては、「親子ふれあい散歩」実施済み）

また、8月に予定していた「同園会」は11月20日（土）の午後を開催します。一昨年度、昨年度に卒園した子どもたちが園舎に戻ってきます。出欠の返信ハガキが続々帰ってきていますが、その中に、首を長くして待っていた子どもたちの気持ちがよく表れた言葉が数多くみられます。在園児と一緒に過ごすことができないのが少し残念ですが、成長した子どもたちに再会できるのを楽しみにしています。

実施できなくなった行事もあります。また今後の状況でできなくなる行事もあるかもしれません。それでも、少しずつでも、できることから再開し、子どもたちの笑顔を今以上に増やしていくことが使命だと思っています。中でも、最後の年になるゆめ組の子どもたちには、何とかできる形を工夫しながらたくさんの思い出をつかって卒園できるようにしていきたいと考えています。

今月も、笑顔と笑声の溢れる保育園であり続けたいと思います。

上野 理生



11月の予定



園外保育（ゆめ組）	4日（木）		
誕生会	8日（月）	救急訓練	12日（金）
耳鼻科健診	18日（木）	避難訓練	19日（金）
幼児グループ懇談会	20日（土）	同園会	20日（土）
発育測定	17日（水）～19日（金）	体育あそび	8日（月）・22日（月）



あさひぐみ



今月のねらい：友だちと関わって遊ぶことを楽しむ



どんぐりだ



じぶんのできるよ



全員が歩けるようになり、先月は初めて靴を履いて屋上園庭へ出て体を動かしたり、散歩に出掛けてどんぐりや落ち葉を拾って楽しんだりしました。自分でしたいことが増え、その中でも自分でスプーンやフォークを使って食べることがとても嬉しい様です。まだまだ上手に口へ運ばなくてスプーンからすくったものがポロッと落ちてしまうこともあります。小さく一口大に切ったり、フォークに刺したりして自分でしようとする気持ちを大切に見守り、援助しています。

友だちに「どうぞ」「ありがとう」と玩具を渡し合う姿も見られるようになってきました。来月は様々な遊びの中で保育士が仲立ちをしたり、思いを代弁したりすることで友だちとの関わりを楽しめるように配慮していきます。



ひかいぐみ



今月のねらい：保育士や友だちと季節ならではの絵本や歌を楽しむ



いちばんだよ



むっくりくまさん



トンネルみっけ♪

10月は、鷹取駅北公園へ散歩に出かけたり、テラスや屋上園庭に行き簡単なルールのある遊びをしたりして、体を動かすことを楽しみました。子どもたちの一番好きな遊びはむっくりくまさんで、「くまさんおきてー」と声をかけたり、くまになった保育士から逃げたりして楽しんでいました。戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ楽しさが十分に感じられるよう、一緒に体を動かして、子どもたちと触れ合いながら楽しさに寄り添っていきます。

今月は、深まる秋をより一層感じられるよう、秋ならではの食べ物や草花の絵本を繰り返し読んだり、歌と一緒に歌ったりしていきたいと思います。



にじぐみ



今月のねらい：たかとりちどりキッズの友だちとの交流を楽しむ



先月からうがいを始めました。「ごはんたべたよ。うがいする？」と保育士に確認しながら、自分のコップで意欲的にブクブクうがいに取り組む子どもたち。「ブクブク上手だね」「お口の中がきれいになったね」などと声をかけながら、丁寧にブクブクうがいの方法を伝えています。引き続き、保育士が傍で見守ってうがいの方法を伝えていき、徐々にガラガラうがいにも挑戦できるように援助していきたいです。

今月は、椅子取りゲームのような簡単なルールのある遊びを通して、きまりを守ったり、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じたりしながら、さらに関わりを深められるようにしていきます。また、たかとりちどりキッズのにじ組と交流し、一緒に表現遊びやふれあい遊びに取り組みます。



きいんグループ



今月のねらい：手洗いうがいを丁寧にする



こうやって
つくるんだよ！



どのドーナツに
しますか？

先月は、ドーナツ屋さんごっこをしました。「かいものはカードです」と思いついた子どもが全員のカードを作り、みんなに配りました。カードをもらった子どもは、カードリーダーに見立てた玩具で読み取ってもらいドーナツを買っていました。ドーナツだけでなくトングやカードリーダー、カードなど遊びに必要なものを考え、自分たちで作って遊ぶ子どもたち。これからも、遊びに必要なものをみんなで一緒に考えて作ったり、作りたいものが実現できるよう環境を整えたりして、ごっこ遊びを発展させていきます。

今月は、手洗いうがいを今まで以上に丁寧に、改めて感染症予防の大切さを伝えていきます。



うさぎグループ



今月のねらい：様々なものを工夫して作り、ごっこあそびを楽しもう



いただきますをしっかりと



せなかはのばしてすわろう



おさらをしっかりとつよ

先月は、食事をする際のマナーについて子どもたちと一緒に考える機会を作りました。「ご飯を食べる時に大切なことはどんなことがあるかな？」と問いかけると、「せなかをのばして、まっすぐすわる」「ひじはつかないよ」「いただきます、ごちそうさまをしっかりと」「おさらをしっかりとって食べる」など考えたことを伝え合い、食事の際に意識する姿が見られました。引き続き、マナーについて話をしたり、一人ひとりの意識する姿を認めたりし、マナーを守って楽しい雰囲気の中、食事ができるようにしていきます。今月は、みんなで様々なものを作って、お店屋さんごっこを楽しみたいと思います。さて、どんなお店屋さんがオープンするのでしょうか…お楽しみに♪



そうグループ



今月のねらい：様々なものになりきって遊ぶことを楽しむ



けんこうにすごす
ためにひつような
ことはなにか？



ごはんをしっかりと食べる



てあらい・うがいを
する！

風邪が流行ってくる時期。そこでみんなで健康に過ごすために必要なことを話し合う時間を作りました。「ごはんをしっかりと食べる」「てあらい・うがいをする」「はやねはやおきをする」等の大切なことを子どもたちなりに考え出して、積極的に言葉で伝える姿が見られました。みんなで話し合ったこともあって、健康に対する意識も高まり、子どもたち同士で伝え合いながら様々なことに取り組むようになりました。これからも一人ひとりの健康状態を把握し、元気に過ごせるように大切なことを伝えていきたいと思っています。

今月は、様々な絵本を見てイメージしたことを表現し、なりきったり作ったりして遊びたいと思います。

11月の予定(キッズ)

※発育測定の日程は、たかとりちどり保育園と同じです。

誕生会 4日(木)

救急訓練 15日(月)

避難訓練 22日(月)



キッズ



今月のねらい：様々な遊びを通して表現することを楽しむ



これわたしの？



ズボンはけるよ！



よいしょ！



じぶんで
たためるよ

あさひぐみは、靴や靴下に興味をもち始めました。「散歩に行こう」と声を掛けると、自分の靴下を箱の中から出して保育士に手渡し「あっあっ」と喃語を発しながら嬉しそうにしています。靴下を履くと次は靴を持って玄関に座り、今か今かと順番を待っています。靴や靴下を履かせてもらうと満面の笑みで喜んでいます。

ひかりぐみは、ズボンを自分で穿こうと頑張っています。はじめは「足はどこに入れるかな？」「ここをもって引っ張るよ」などと穿き方を伝えながら一緒に穿いていましたが、今ではズボンを広げて置くとほとんど自分でできるようになってきました。また、最近では上の服を脱ぐことに挑戦する姿も見られます。見守ったり、さりげなく手伝ったりし、自分でできた喜びが感じられるようにしています。

にじぐみは、服やシャツの着脱を「じぶんでする！」と意欲的に取り組んでいます。困った時は引っ張る所や持つ所を伝えることで、自分で着脱できるようにしています。また、脱いだ衣服を広げておくと、「こう？」と尋ねながら丁寧に畳み、「できたよ！」と喜んでいます。その姿に共感し満足感が感じられるようにしています。

今月は子どもの好きな動物に保育士と一緒になりきったり、積み木や粘土などで家や動物を作ったりし、様々な表現を楽しんでいます。その姿を十分に認めたり共感したりすることで、表現する楽しさが感じられるようになっていきます。

《 頭も身体も使うパズル？ ボルダリングの魅力 》



『スポーツクライミング』という競技をご存じですか？ 先の東京オリンピックで初めて正式種目に採用となった競技のため、目や耳にした方、また実際に体験したことがあるという方もいらっしゃるかもしれません。実は私は「やれば絶対はまる！」という謎めいた自信から、数年前に始めてみたところ、あれよあれよという間にその魅力に取り憑かれ、今ではマイシューズを3足も持つに至っています。今回はそんな私が『スポーツクライミング』の中でも、最も気軽に始めやすい「ボルダリング」について紹介していきます。

ボルダリングは、約4m前後の壁にたくさん付いたホールド(カラフルな石)を手がかり、足がかりにし、命綱等なし、身体一つでゴールまで登り切るスポーツです。でもご安心を。ボルダリングジムは床一面に大きく分厚いマットが敷いてあり、安全に遊べるよう整備されています。どのジムに行っても店員さんが、ルールから登り方のコツまで丁寧に指導してくれます。また、必要な道具は動きやすい服装だけです。専用のシューズや滑り止めのチョークなどはレンタルすることができます。またそのチョークには、コロナウィルスの活動を99%抑えるという研究結果が出ており、このご時世でも安心です。料金的にはレンタル代含め3,000円程度で一日中楽しむことができます。

ボルダリングの面白さは、身体だけでなく頭も使うスポーツというところです。決められたコース(課題)をどういった手順や足運びで登るか、どういった動きをすれば最小限の力でゴールまでたどり着けるか、ということを考えてトライしていきます。これこそボルダリングが「頭も身体も使うパズル」と言われる所以です。様々な形状のホールドを様々な持ち方や身体の動かし方で攻略しゴールする。難しくれば難しいほど、何度も落ちれば落ちるほど、登れた時の達成感は格別です。課題に関しては、小学生でも登れるものから、腕力に自信のある男性でも登れないものまで様々で、自分に合った課題に挑戦できるのも、老若男女が楽しめるポイントです。

アフターコロナの中、天候に左右されず、頭も身体も使い安心して楽しめるボルダリング、この機会にぜひ体験してみたいはいかがでしょうか。新長田に、子どもと一緒に楽しめるジムもあります。関心のある方はお声かけください。

伊藤 愛朗